

# バラ水〈マー・ワルド〉

アラビアンナイトの世界

B0501

イラン／アラブ地方

## 参照資料

『国立民族学博物館展示  
ガイド』p.41



ماء ورد

大量のバラの花びらを蒸留（じょうりゅう）して作る。香水、薬品、料理用などに広く用いられてきた。シャーベットやコーヒーにふりかけて香りを楽しむこともある。来客の際には相手にバラ水をふりかけて歓迎する。

## 西尾先生からのひとこと

江戸時代の日本にも「薔薇露」という名前が入っていました。

# バラ水入れ 〈クムクム〉

アラビアンナイトの世界

B0502

アラブ地方

## 参照資料

『国立民族学博物館展示  
ガイド』 p.41



قمقم

バラ水を入れる容器。金属やガラスで作られている。家庭の常備品。来客のあった場合には、歓迎のしるしとしてこの容器に入ったバラ水をふりかける習慣がある。

# 乳香〈ルバーン〉

アラビアンナイトの世界

B0503

アラブ地方

参照資料



لبان

オマーンやソマリアに自生する乳香樹の樹脂。木の表面に傷をつけて流れてきた白い液体を乾燥させたもの。古代から珍重された香料のひとつ。今でも香水や医薬品の原料として、広く使われている。

## 西尾先生からのひとこと

古代では同じ重さの黄金と取引されたということです。

# 香炉 〈マブハラ〉

アラビアンナイトの世界

B0504

アラブ地方

## 参照資料

『国立民族学博物館展示  
ガイド』 p.40



مبخرة

乳香などを焚（た）くための香炉。乳香に直接火をつけると、香りのよい白煙が出る。乳香以外の香料を焚く場合は、炭を使うこともある。室内を芳香で満たしたり、衣服に香を焚きこめたりする際に用いる。

# 貿易品セット

## アラビアンナイトの世界

# B0505

アラブ地方

### 参照資料

季刊民族学ファイル～  
民族学タテヨコ「調味  
料と香辛料」



インド洋を航海したシンドバッドは、香料や香辛料をはじめとするさまざまな品物を持ち帰った。

### a 沈香〈ウッド عود〉

東南アジアに自生するジンチョウゲ科の植物が土中に埋まって腐敗し、芳香を発するようになったもの。古くから日本にも伝えられ、正倉院の宝物庫にもおさまられている。炭火でいぶすと香煙を発する。

### b 白檀〈サンダル صنندل〉

南インド原産の樹木。よい香りがするため、古くから香木として用いられてきた。日本では仏像や細工物を作ってきた。線香の原料ともなるが、自然保護のために最近では代用品を使うことも多い。

### c 竜腦〈カーフル كافور〉

東南アジア原産の竜腦樹（フタバガキ科の高木。樹高数十mに達する）からとれる樹脂。天然資源保護のため、現在は樟腦で代用されている。

### d にくずく〈ジャウズ・アッティーブ جوز الطيب〉

マルク諸島（インドネシア）原産の高木の種子。香辛料として珍重された。ナツメグ、ニッキとも呼ばれる。ヨーロッパにも伝えられて、料理用として広く使われるようになった。

### e ちょうじ〈カランプル قرنفل〉

熱帯原産のフトモモ科植物から採れる香辛料。漢字では丁子と書く。クローブとも呼ばれる。香辛料として珍重され、料理に広く用いられてきた。香水や薬品の原料ともなる。

### f こしょう〈フィルフィル فلفل〉

インド原産の香辛料。古くから非常に重要な交易品であり、コショウを求めて、中東やヨーロッパから多数の貿易商人が訪れた。珍重されるあまり、同じ重さの金と交換されたこともあった。

# イブリーク 〈イブリーク〉

アラビアンナイトの世界

B0506

アラブ地方



## 参照資料

図録『アラビアンナイト博物館』p.46、p.47

『国立民族学博物館展示ガイド』p.40、p.41

季刊民族学ファイル～モカ・コーヒー「香味の謎を探る旅」、「香りは世界を駆けめぐる」

## ابريق

アラビア・コーヒーで使うコーヒー沸かし。コーヒーの粉と水を入れて弱火にかけ、泡が立つのを待つ。フィルターを使わないので、コーヒーかすが残る。このかすを使って占いをすることもある。

### 西尾先生からのひとこと

コーヒーはエチオピア原産。アラブをはじめとする中東世界ではコーヒー文化が栄え、やがてヨーロッパへと伝わっていった。世界初のコーヒー店ができたのは16世紀のカイロだった。

アラビアンナイトもコーヒー店で講釈師によって語られていました。アラジンには竜涎香を入れたコーヒーが登場します。どんな味だったのでしょうか。

# ホーン 〈ホーン〉

アラビアンナイトの世界

B0507

アラブ地方



هون

## 参照資料

図録『アラビアンナイト博物館』 p.46、p.47

『国立民族学博物館展示ガイド』 p.40、p.41

季刊民族学ファイル～モカ・コーヒー「香味の謎を探る旅」、「香り」は世界を駆けめぐる」

炒（い）ったコーヒー豆を挽（ひ）くための道具。現在では金属製の鉢と棒を使うのが普通だが、かつては陶製の鉢と木の棒が使われていた。

## 西尾先生からのひとこと

最初の頃は、大きな器でコーヒーをみんなで回し飲みしたようです。

# 葦ペン 〈カラム〉

## アラビアンナイトの世界

B0508

アラブ地方

### 参照資料

図録『アラビアンナイト  
博物館』 p.78



قلم

アラビア書道で用いられる、葦（あし）の茎を切って作ったペン。これをインクにつけて文字を書く。偶像崇拝につながるという理由で絵画の芸術が発達しなかったイスラム世界では、抽象的な文字によるカリグラフィーが発達した。

### 西尾先生からのひとこと

京都の祇園祭の山鉾にもアラビア文字が使われています。探してみましょう。



# コーラン練習板〈ラウハ(ラウハト・ルキターバ)〉 B0509

## アラビアンナイトの世界

参照資料



لوحة

クッターブとよばれるコーラン学校で子どもたちがコーランの語句を学ぶために使う。コーランをすべて暗誦できるようになると、ハーフィズと呼ばれて尊敬される。

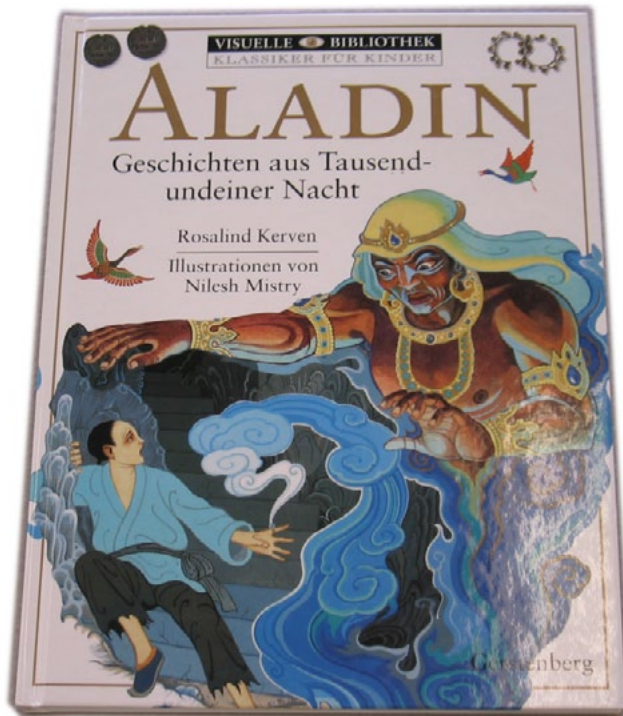
### 西尾先生からのひとこと

木がない所では、土や砂の上に文字を書いて勉強しています。

# 書籍『アラジン千夜一夜物語からのお話集』B0510

## アラビアンナイトの世界

参照資料



アラジン、その他のアラビアンナイトのお話しを通して中東の文化や歴史を紹介しています。子ども向けのビジュアル百科事典シリーズ。

出版国 / ドイツ 著者 / ロザリン・ケルヴェン イラスト / ニレシュ・ミストリイ  
出版年 / 1998 言語 / ドイツ語

### 山中先生からのひとこと

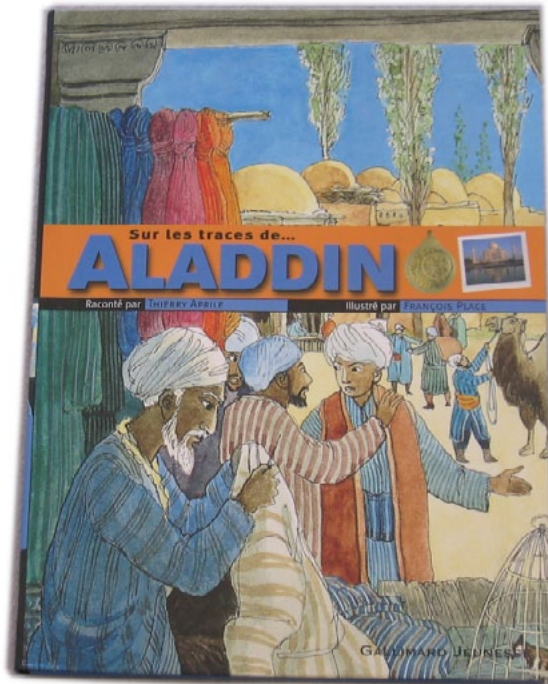
アラジンのランプってどんなの？  
アリババの宝箱には何が入っていたの？

# 書籍 『アラジンを追って』

B0511

アラビアンナイトの世界

参照資料



アラジンのお話を通して中東の文化・社会・歴史を紹介しています。

出版国 / フランス 著者 / ティエリー・アプリール イラスト / フランソワ・プラス  
出版年 / 2001 言語 / フランス語

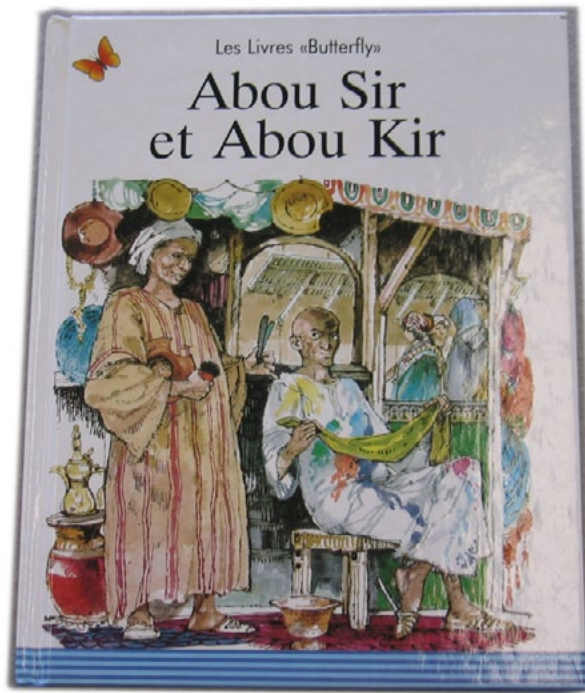
## 山中先生からのひとこと

フランスの子どもたちは、このような本を通して中東文化の理解を深めています。

# 書籍『アブー・シールとアブー・キール』B0512

## アラビアンナイトの世界

参照資料



正直者の床屋アブー・シールとなまけもの染め物屋アブー・キールのお話。

出版国 / レバノン 著者 / バルベリー・パブリッシング イラスト / メアリー・クラターバック  
出版年 / 1983 言語 / フランス語

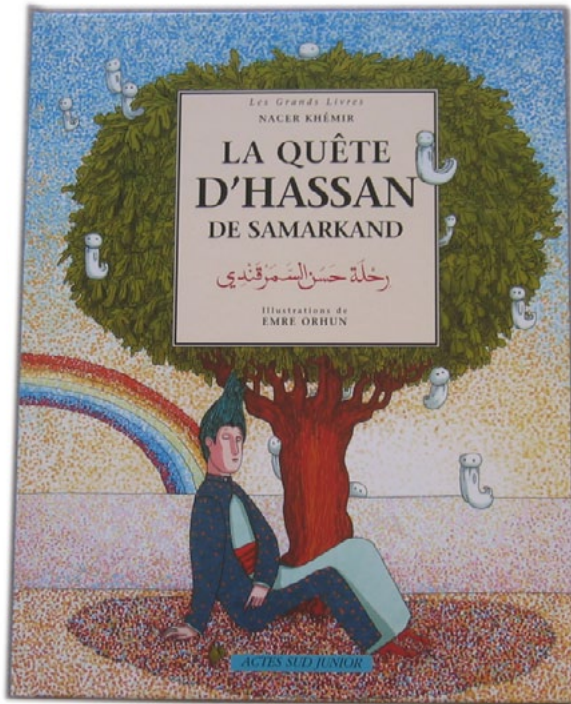
### 山中先生からのひとこと

レバノンの人はフランス語を第2外国語として習います。アラブの昔話を通してフランス語を習う本です。ことばの解説が最後についています。

# 書籍『サマルカンドのハサンの旅』B0513

## アラビアンナイトの世界

参照資料



お気に入りのいちぢくの木の下で昼寝をしていたハサンは不思議な夢を見て、宝探しの旅に出る。

出版国 / フランス 著者 / ナセル・ヘミル イラスト / エムレ・オルフン  
出版年 / 2003 言語 / フランス語

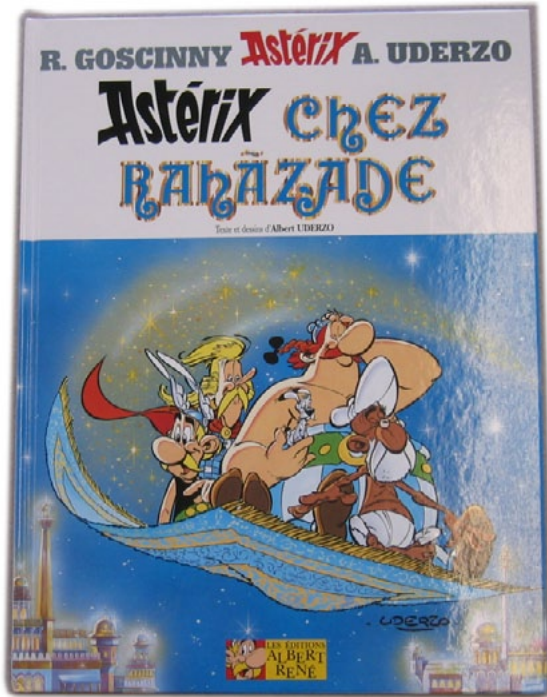
### 山中先生からのひとこと

不思議な絵を見ながら、みんなでお話しを考えてみよう。

# 書籍『アステリクス、ラハザードのもとへ』B0514

## アラビアンナイトの世界

参照資料



ローマ時代のゴール人アステリクスとその仲間たちの冒険シリーズ。インドへ空飛ぶじゅうたんにのってラハザード姫を助けにゆく。

出版国/フランス 著者/アルベール・ウデルゾ イラスト/アルベール・ウデルゾ  
出版年/1987 言語/フランス語

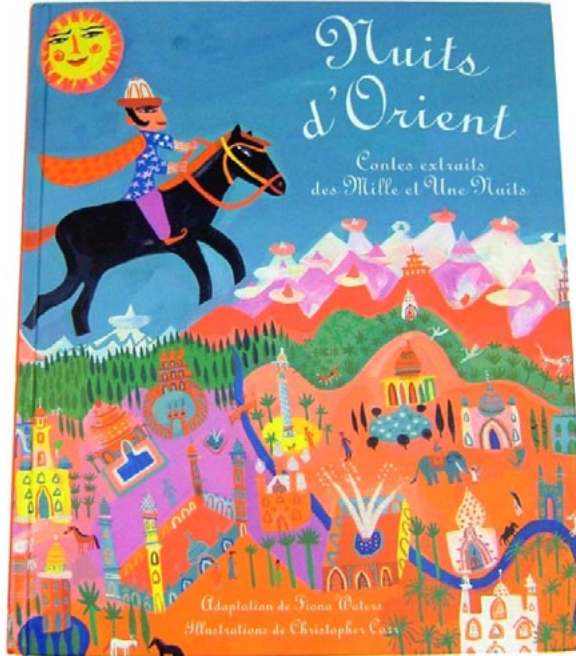
### 山中先生からのひとこと

アステリクスはフランスのコミックの古典です。ドラエモンに「ドラビアンナイト」があるように、人気マンガシリーズにアラビアンナイトのモチーフが取り入れられることはよくあります。みなさんの知っているマンガの中にも空飛ぶじゅうたんや魔法のランプはでてきませんか？

# 書籍『オリエントの夜、千夜一夜から抜粋』B0515

## アラビアンナイトの世界

参照資料



シェヘラザードの枠物語とアリババ、シンドバッド、空とぶ木馬などのお話が含まれています。

出版国 / フランス ミッシェル・ニクリー訳 / フィオナ・ウォーターズ改編  
イラスト / クリストファー・コル 出版年 / 2003 言語 / フランス語

### 山中先生からのひとこと

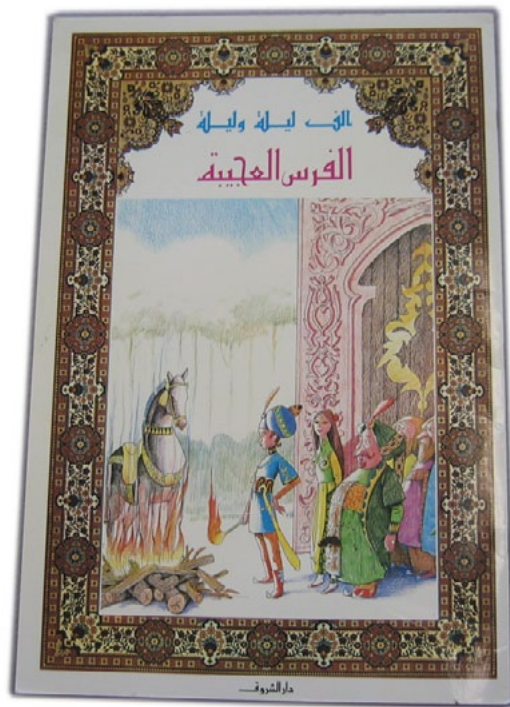
フランスでは今でもかわいいイラストのアラビアンナイト絵本が制作されています。

# 書籍『不思議の木馬』

B0516

アラビアンナイトの世界

参照資料



ペルシアの王のもとに三人の賢者が贈り物をもってやってきました。三人目の賢者の贈り物はなんと空飛ぶ機械じかけの馬でした。王子はその馬に乗って冒険の旅へ...

出版国/エジプト 著者/イブラヒーム・アルアッリム イラスト/アフマド・サウィーラム  
出版年/1995 言語/アラビア語

## 山中先生からのひとこと

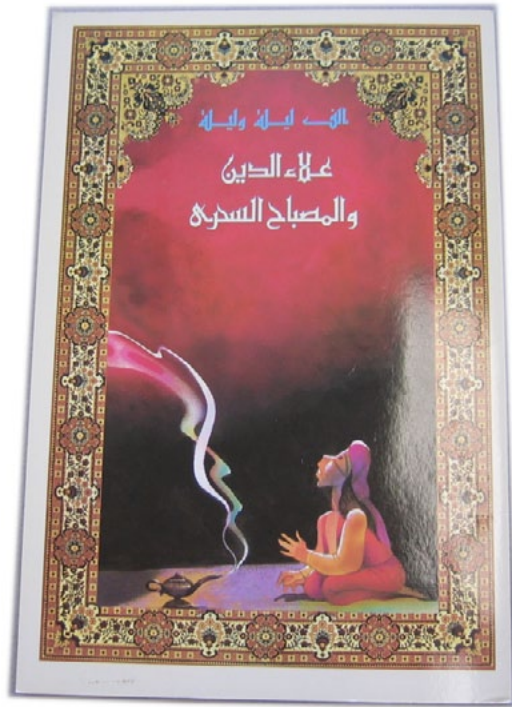
エジプトなど、アラブ世界の子どもたちも昔話としてアラビアンナイトの物語に親しんでいます。



# 書籍『アラジンと魔法のランプ』B0517

## アラビアンナイトの世界

参照資料



アラジンが見つけた古いランプから魔人が...

出版国 / フランス 著者 / アルフナーン・アブド・アルアール イラスト / ヤアクーブ・アルシャールーニー  
出版年 / 1999 言語 / アラビア語

### 山中先生からのひとこと

みんなも知ってるアラジンのお話。ディズニーとはちょっと違いますね。紙芝居のようにお話しにしてみよう。

# 書籍『シンドバード』

B0518

アラビアンナイトの世界

参照資料



船乗りシンドバードがたどり着いた島には巨大な卵が。そこにとんできたのは...

出版国 / エジプト 著者 / イブラヒーム・アルアッリム イラスト / アフマド・サウィーラム  
出版年 / 1995 言語 / アラビア語

## 山中先生からのひとこと

このお話しを読んでから自分の冒険物語を作ってみよう。

# 男子リュックサック〈ハキーバ・ザフル〉 B0519

エジプト／アラブ地方

アラビアンナイトの世界

参照資料



حقيبة ظهر

# 筆記用具

## アラビアンナイトの世界

B0520

アラブ地方

参照資料



- a 三角定規セット〈ミスタラ・ムサッラサ **مسطرة مثلثة**〉 b ボールペン〈カラム・ガーフ **قلم جاف**〉  
c 鉛筆〈カラム・ラサース **قلم رصاص**〉 d 消しゴム〈ミムハー **ممحاة**〉  
e 色鉛筆〈カラム・アルワーン **قلم ألوان**〉 f 定規〈ミスタラ **مسطرة**〉

# トランプ 〈ワラクッライブ〉 B0521

エジプト／アラブ地方

アラビアンナイトの世界

参照資料



ورق اللعب

## 西尾先生からのひとこと

トランプ遊びなどの順番を決めるとき、日本ではじゃんけんをしますが、エジプトではじゃんけんのようなものはないようです。その代わりにコインを投げて「マリク（王）アウ（or）キターバ（文字）？」、王か文字か？と聞いて決めるそうです。

# じゅず 〈スブハ〉

アラビアンナイトの世界

B0522

エジプト／アラブ地方

## 参照資料

『国立民族学博物館展示  
ガイド』 p.43



سبحة

イスラムで使用する数珠。普段は手首に巻く。イスラムの神アッラーには99の別名があるとされ、アッラーという名と99の別名の合計100個の玉をつないでいる。33個のこともある。33個または11個ごとに形の違う玉を入れることが多い。

## 西尾先生からのひとこと

数珠はもともとインドのバラモン僧が使っていたもので、仏教の数珠もイスラム教の数珠も同じ起源です。

# 練習帳〈クッラーサ〉

B0523

エジプト／アラブ地方

## アラビアンナイトの世界

参照資料



كراسة

左上から時計回りに、『初等地図帳』、アルファベット練習帳、イスラーム教本、コーランの一部、アルファベット練習帳。

# 女子リュックサック〈ハキーバ・ザフル〉 B0524

エジプト／アラブ地方

アラビアンナイトの世界

参照資料



حقيبة ظهر





- a 筆箱〈ミクラマ **مقلمة**〉 b 消しゴム〈ミムハー **محاة**〉 c クリップ〈ミシュバク・ワラク〉  
d メモ帳 e 定規〈ミスタラ **مسطرة**〉 f シャープペン〈カラム・ラサース・アスナーン **قلم رصاص أسنان**〉  
g シャープペン芯〈ラサース・アスナーン **رصاص أسنان**〉 h ボールペン〈カラム・ジャーッフ **قلم جاف**〉  
i 鉛筆〈カラム・ラサース **قلم رصاص**〉 j 色鉛筆〈カラム・アルワーン **قلم ألوان**〉

# じゅず 〈スブハ〉

アラビアンナイトの世界

B0526

エジプト／アラブ地方

## 参照資料

『国立民族学博物館展示  
ガイド』 p.43



سبحة

イスラムで使用する数珠。普段は手首に巻く。イスラムの神アッラーには99の別名があるとされ、アッラーという名と99の別名の合計100個の玉をつないでいる。33個のこともある。33個または11個ごとに形の違う玉を入れることが多い。

## 西尾先生からのひとこと

数珠はもともとインドのバラモン僧が使っていたもので、仏教の数珠もイスラム教の数珠も同じ起源です。

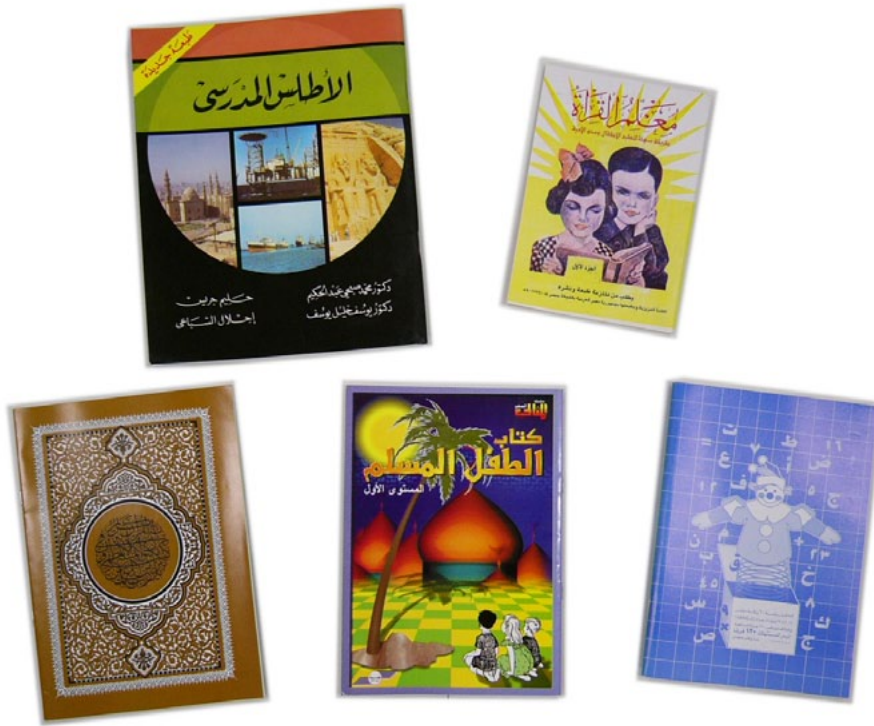
# 練習帳〈クッラーサ〉

B0527

エジプト／アラブ地方

## アラビアンナイトの世界

参照資料



## كراسة

左上から時計回りに、『学校の地図』、『読み方をおしえる本』、文字練習帳、『子どものイスラム教徒の本』、コーランの一部。

# 文字ブロック〈フルーフ〉

B0528

エジプト／アラブ地方

## アラビアンナイトの世界

参照資料



### حروف

アラビア語は全部で28のアルファベットで表現される。ただし、各単語の最初にくるか、最後にくるか、または真ん中にくるかで形が少しづつ変化する文字もある。右から左に書く。



#### 西尾先生からのひとこと

自分の名前をまずブロックでつくってみましょう。

「図説世界文化地理大百科 イスラム世界より」

# 男子衣装

## アラビアンナイトの世界

B0529

カイロ／アラブ地方

参照資料



a ワンピース〈ガッラビーヤ *جلابية*〉 b ベスト〈アバーヤ *عباية*〉

男子の盛装の一つ。エジプト男性の昔の盛装を子ども用として小さくしたもの。現在では、着用している子どもはあまり見られない。通常、結婚式などで、男の子は黒や紺の小さなスーツを着て、派手な色の蝶ネクタイをはめる。

# 女子衣装

## アラビアンナイトの世界

B0530

カイロ／アラブ地方

参照資料



a ワンピース〈アバーヤ **عباية**〉 b 髪かざり〈ジーナ **زينة**〉

女子の外出着の一つ。エジプト女性の外出着を子ども用として小さくしたもの。肌や髪を人に見せない、慎み深い服装。盛装として用いられることもあるが、通常、結婚式などで、女の子はフリルやリボンのついた派手なドレスを着る。

# ベール〈ヒジャーブ〉

## アラビアンナイトの世界

B0531

カイロ／アラブ地方

### 参照資料

図録『アラビアンナイト博物館』 p.60～p.63

季刊民族学ファイル  
「北イエメン・ガンビアとベールの国」、民族学タテヨコ「子育て」



## حجاب

イスラム教徒の女性が頭にかぶる布。髪を隠すだけのものから、頭部を覆（おお）ってしまうものまで、地域によって形が異なる。最近では、カラフルなベールをおしゃれに着こなす女性も増えている。

一方では、女性に対する抑圧の象徴などの理由で議論となっている。

### ベールの巻き方



1. 色のちがう長方形のスクarfを2枚、2. 3センチメートルずらしてかさねる。



2. 頭のとっぺんから垂らし、あごの下で安全ピンでとめる。



3. 内側の布を少しずらしながら頭に巻き、ずり落ちないようにヘアピンでとめる。



4. 同じように外側の布を巻き、ヘアピンでとめる。